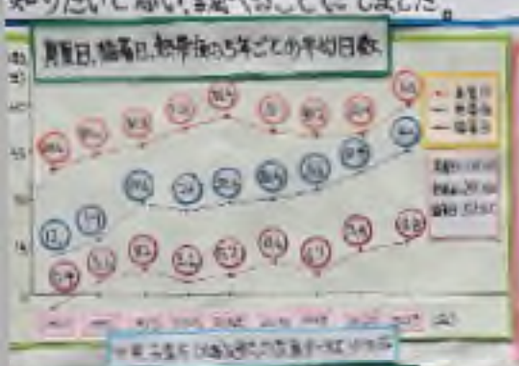
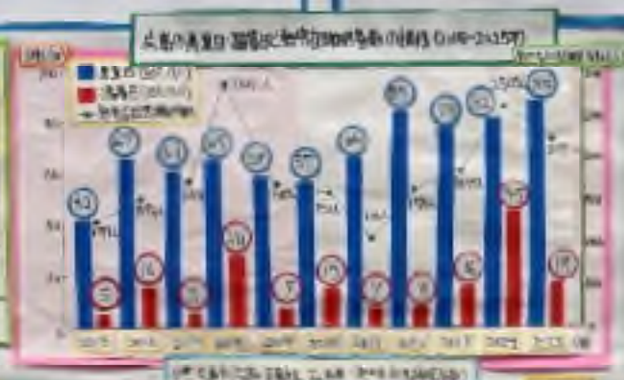
暑すぎる！夏の生活はどう変わった？

注意
割合は、四捨五入してるため合計が100%にならない場合があります。

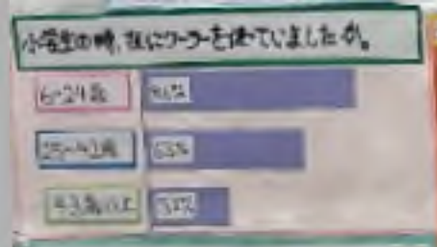
調べた理由　最近の夏休みは熱中症アラートで外で遊べないことが多く、僕の親は、昔はそんなことはなかった。と言っていました。地球温暖化については知っていますが、実際に昔より暑くなっているのか、また地球温暖化による雨の降り方や生活に変化が起きているのか、知りたいと思い、調べることにしました。

調査方法　気象データなどの既存の資料を使って昔と比べて最近は暑くなっているのか、雨量の変化があるのかを調べました。また、広島市の中の都で小学生から大人までの66人を対象に小学生時代の生活についてアンケート調査をしました。

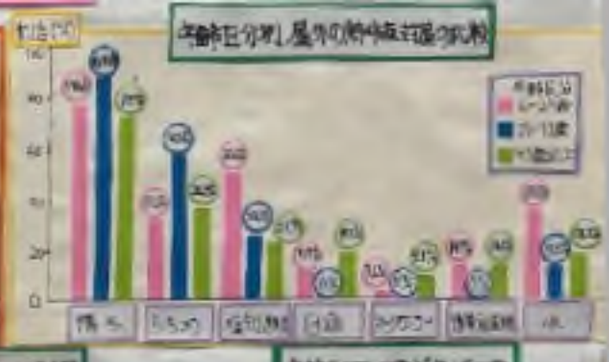




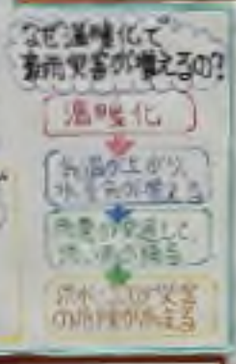










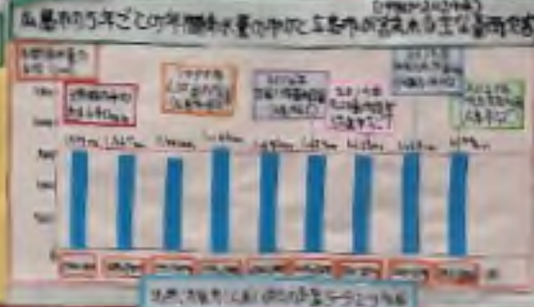






まとめ
- 昔と比べて最近は真夏日、猛暑日、熱帯夜の日数が増えていました。特に熱帯夜の日数が大きく増えていました。
- 熱中症の搬送者数は増加傾向にあり、特に猛暑日が多い年には搬送者数も多くなっていました。
- 真夏日は昔より早い時期の5月始まる遅い時期まで続く傾向があり暑い期間が長くなっていました。
- 小学生時代の屋内での暑さ対策では、扇風機、扇子、うちわなど昔ながらの対策が多い一方で若い年代では扇風機やエアコンなどを使った対策が多くみられました。
- 小学生時代の屋外での暑さ対策では40代以上では、扇子、うちわなど昔ながらの対策が多く若い年代では塩分補給や休憩などを使った対策も多くみられました。
- 昔と比べて最近は、海や川で泳ぐ回数や外で長時間遊ぶ人の割合が減りました。
- 年間の雨の量は昔と比べて大きく変わっていませんでしたが、近年は、大きな豪雨災害が短い間隔で起きていました。





考察　真夏日、猛暑日、熱帯夜はいずれも昔より増えており、地球温暖化による夏の暑さへの影響を感じました。
- 暑さ対策は昔ながらの方法に加えて扇風機やエアコン、塩分補給や休憩などを使った対策へと変化してきていることが分かりました。
- 昔と比べて、夏に海や川で泳ぐ回数が減少して長時間遊ぶ人の割合が減っていました。暑さが厳しくなったことや熱中症警戒アラートなどにより外遊びを控えるようになったことも関係していると思いました。
- 年間の降水量は昔と比べて大きく変わっていませんでしたが、25歳以上では豪雨が増えたと感じる人が多くみられました。近年は豪雨災害が短い間隔で起きていることがそのように感じる理由だと考えました。
- 今回の調査から暑い日が増え、暑い時期も長くなり、それに合わせて生活が暑さ対策も昔にしていることが分かりました。これからは熱中症対策だけでなく、温暖化を進めないために自分たちにできることを考え、行動することも大切だと思いました。